

文教民生委員會視察報告

(①のマーク=リンクが貼ってありますので、詳細はWebを参照ください)

研究テーマ 行政×高校生（高校生の行政参画）

少子化が進む中、地元唯一の「海津明誠高校の魅力化や若者の視点を用いたまちづくりを進めるための仕組みづくり

=視察先=

令和6年7月16～17日：奈良県奈良市（子どもにやさしいまちづくり条例、子どもセンター、子ども会議）

兵庫県加古川市（加古川東高校：STEA 教育、地域探究学習（地域課題）と地元企業のマッチング）

徳島県海部郡海陽町（町：地元高校育成補助事業、県：海部高校魅力化プロジェクト）

=内 容=

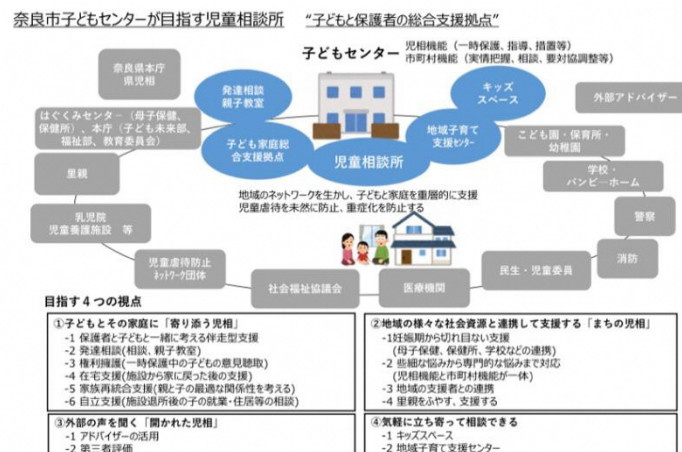
①

子どもにやさしいまちづくり条例



①

奈良市子どもセンター



- ・市内在住の小学5年生から高校3年生まで年度ごとに公募し、大学生をサポートとして募集する。
- ・施策を検討するにあたり、こども自身の考えを聴くことで新たな発見や気づきがある。また、子どもの希望があるということは内部的にも対外的にも説得力が増す。

①

こども会議

ポイント

「ユニセフ日本型子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）実践自治体」として国内初の承認。

市長の強い意向により、他自治体を先駆けて子ども条例を制定した。

重大事案が続き、子どもたちを取り巻く環境が複雑化複合化する中、子どもセンターを開設した。

認知件数としては増加しているが、状況が改善されていないというよりは、「早期発見」につながっているからと認識している。

運営していく上での課題は、人材育成。職員の人事異動や職務の困難さから人材育成が難しい。

兵庫県加古川市 加古川東高校

市役所の体制

①

昨年度、JIAM で講師を務められた方は退職されており、行政側の取り組みの経緯などは詳細をお聞きできず、事業そのものの庁舎内での継承は当時ほどの熱量がないように感じた。学校側が取り組みを継続しているため事業としては頓挫していないが、「人（担当者）」による部分が大きく、行政側の人材育成の重要性も感じた。

①

加古川東高校 STEAM 教育

およそ7割の生徒が国公立大学に進学する。19年間に渡り SSH を取り組んできた。STEAM 教育は「特別講座」として実施。

1年目は、Science や Technology を意識したため、全体的に「理系」っぽい講座が多かったが、その中でも「加古川市の地域デザインを考えよう」が夏休み後も生徒自身が意欲的に継続し、賞の受賞や市内の企業とのつながりを作ることができた。これは、STEAM の頭文字に関わらず、生徒がわくわくして意欲的に取り組める講座を開設するきっかけとなった。

◎地域と協働したプログラム〈STEAM 特講地域デザイン〉

- | | | |
|------------------|---|--|
| ・生徒が市役所などでインタビュー |  | 企業、自治体などとの関係が深まる |
| ・成果発表会に関係者を招待 | | 他の授業等での連携につながる（加古川市、NEC、中国銀行、SAP ジャパンなど） |
| ・コンテスト等の成果の新聞報道 | | |

◎地域デザイン講座の目標

RESAS 等を使ったビッグデータ（定量的なデータ）

インタビューなど足を使って得られるデータ（訂正的なデータ）

} 社会の一員として実現したい価値や理想の姿を描き、それを情熱を持って周囲に伝え、実現する力の育成

STEAM 教育を実施するようになり・・・

「探究・STEAM をするために加古川東に来た!」という生徒が増加（特色ある教育）

課題研究、探究、STEAM 特講を経験することで、学ぶ意義の理解が深まり、学ぶ意欲が高まった。探究が得意な生徒のアイデンティティが確立

実現するための
考え方、デザイン
思考を学ぶ

地元高校育成補助（徳島県海陽町） ＊総事業費 1,500万円（財源：ふるさと納税、基金）

学力向上	☆学習支援システム（駿台サテネット21） 全351講座・1コマ50分を受講できる。1年間受講可。 ☆「新しい学力」測定補助 生徒一人ひとりの強みを生かす進路指導の構築 ☆オンライン英会話 海外のネイティブ・スピーカーとマンツーマンで英会話のトレーニングを行う ☆医学部学生との交流 地域医療を学ぶ徳島大学医学部と生徒が交流し、学習方法の助言や地域医療当の地域課題に関する意見交換	文化 教養を 深める	☆英検等各種検定料補助 実用英語技能検定料、GTEC 検定料 ① ☆海外短期留学プログラム 生徒6名、教職員1名でマーセッドカレッジ訪問 マーセッドカレッジから高校生等5名、来校 ☆国内短期留学プログラム 首都圏の高校で授業体験や部活動体験等の学校生活を体験し、リーダーとなる生徒の育成を図る。（5名） ☆京都賞（日本のノーベル賞） 専門学科である数理科の特色ある取組。
文化・スポーツ振興に関する助成事業	☆全国大会等出場奨励／全国級選手奨学・獲得 ・全国大会・四国大会出場奨励金 ・全国級の選手獲得・地元高校育成（スポーツ）奨学金 ・高みを目指す更なる部活動強化 試合等の各種データを分析し、更なる高みを目指す。 ☆部活動における人材等活用補助給付 陸上部、郷土芸能部、茶道部、男女バスケ部、野球部 ☆おばちゃんちのウチのごはん（NPO 法人あったかいよう委託） 寮生等に対する休日食事等のサポート（1ヶ月あたり平均10回×2人） ☆まち親事務局 保護者のもとを離れ、海部高校に入学する生徒の「まち親」の募集と運営等。	外部 連携に 関する 助成事業	☆デジタル人材育成プログラム （NPO 法人あったかいよう委託） 情報ビジネス科（2年生）対象 映像制作を通して、「自ら考え出す力」を養う。海陽町の未来に対して、斬新かつ創造的なアイデアを生み出せる人材の育成。 ① ☆次世代経営者育成プログラム （海陽町商工会との連携事業委託） ・情報ビジネス科（3年生）の年カりに位置付けた取組 講師への謝金、報告書印刷費 他。 ・情報ビジネス科（1,2年生希望者） 食品衛生責任者資格取得のための講習費 ☆ボランティア活動事業 清掃活動等の情報発信及びボランティア活動費

① <u>ふるさと創生拠点ハイスクール拡大事業</u> (徳島県)	
経 緯	・海部郡は、郡内4高校が1校になるという県下でも類を見ない再編を行った地域。 ・入学生減少の対策として、魅力化タスクフォースを設置し、高校の魅力化を事業化
(1) 課外活動の充実 ・ドリームサーチ(2,3年生)=地域探究活動 ・高校生地域創生オフィス (office Ababai) ・課外活動活性化 ・高校生地域創生オフィス、伝統文化継承活動、部活動活性化、地域防災活動 (2) グローバル教育 ・カリフォルニア州立マーゼットカレッジとの提携により、卒業後の海外進学を見据えた研修プログラムを構築。 ・カレッジ(2年)卒業後は、海外大学(3年次編入)、国内大学(3年次編入)後は地域へUターン (3) 広報・組織 〈魅力化コーディネーターの配置〉 プロポーザルによる随意契約により コーディネート業務→①地域の特性を生かした教育活動の企画運営 ②県外生受入体制への取組の企画・実施 プロモーション業務→①入学者増加への取組の企画・実施 ②体験入学等の参加者募集・サポート	
その他の事業	
☆魅力化推進協議会の設置 委員構成・・・地域代表、地元中学校、地元自治体、県、高校、アドバイザー ☆地域みらい留学への参画 令和元年度より参画 (一財)地域・教育魅力化プラットフォームが実施しているもの	

視察を終えて・・・

- ・こども参加によって大人とともにまちづくりを進めることを目的とすることが重要。
- ・取組のきっかけは首長が政策としての重要性を打ち出したからであり、その必要性を感じた。
- ・まち全体で取り組む、また周知徹底のために条例制定するのは、効果的な方法。
- ・「目標はその学校のレベルで違っても、フォーマットはそのまま活用できる。達成感を感じさせ、自己肯定感を高めること」が重要 (STEAM教育)
- ・民間コーディネーターが担う役割からも必要。(海部高校:県事業)
- ・STEAM教育の実際の教育現場の視察は貴重な体験であった。
- ・幼稚園の園長から高校の校長先生と一緒に会議をしていることで、町の教育を共有できる。
- ・海部高校には郡内の60%の生徒が入学している。地域との結びつきや魅力化が図られていると思う。
- ・自治体による地元高校の魅力化など、海津明誠にも取り入れ、人口減少の一助となるよう考えていく
- ・県職員、町職員、コーディネーターのまちづくりへの熱い想いが学校や町全体を元気にしてきたと思う。

これらの視察を受けて、今後の研究の方向性をまとめる



三方よし（学校・地域・行政）の事業となるよう、価値づけを行う。

① 海津明誠高校の「探究学習（地域課題解決）」の取り組みのさらなる「学校の“推し”&本市の“推し”」となるよう仕組みを考える。

B：魅力化推進協議会（仮）を設置し、地域を挙げて高校魅力化を推進する体制を整える。（参考：徳島県、海陽町）

C：「選ばれる魅力ある学校」を目指し、探究学習の成果をまちづくりにつなげる仕組みを整える。（参考：加古川東高校、海部高校、坂下高校）

② 若者ならではのアイデアを市政に反映させるための仕組みをつくる

A：協働できる場「課」の創設（参考：美濃市→^①未来創造課、鯖江市→^①JK課）

B：協議できる場「会議等」の設置（参考：中津川市→^①coagari、新城市→^①若者議会）

課外授業(ゼミ)
や学科の創設な
ども研究する

